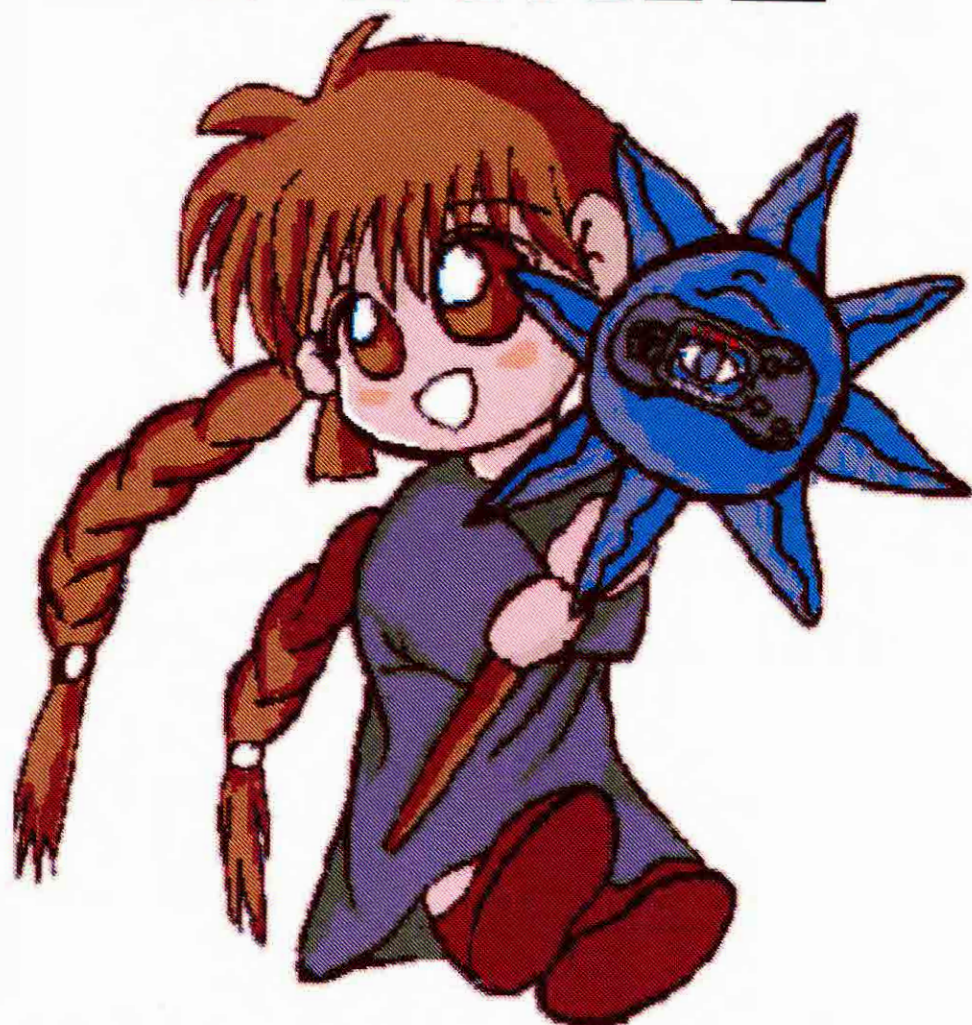


LYNX

The Book

— FINAL —



日本LYNX普及委員会

前記

L Y N X本も遂に9冊目です。別冊でチップス、ガントレット、ビル&テッドがあるので通してみると12冊目です。すごいですね。もう丸4年にもなります。さて、御存知とは思いますが、A T A R IがL Y N Xから手を引きました。ソフトも出てないです。ということで、これ以上のソフトの供給が見込まれない以上、L Y N X本も最終号となります。いつかはこの日が来るとは思いましたが、遂に来ました。

という訳なので、ソフト紹介はありませんが、全ソフトレビュー（再録）と、その他わりと面白いネタもあるので見て下さい。

目次

前記&目次	1
全ソフトレビュー（再録）	2
L Y N Xソフトベスト	17
通販について	22
L Y N Xボーチのこと	23
後記	24



ぼこ

LYNX本のメインライターにして編集長かつスポンサーでもある売り子。全てのLYNXソフト(4in1含む)をプレイした男。チップスチャレンジャー(謎)。全てのゲーム機を保有し海外国内問わず月数万のソフト代を使う大馬鹿者。

おきやす

愛媛で一番のLYNXユーザーです。持っているソフトは37本、本体は1が2台、2が1台(現存数)だったりします。因みに買った台数は8台くらい(笑)もしかしたら日本一?それと、BMXは俺より強い奴に会いに行きたいぞ。

YAS

貧乏暇なし、ついでに最近体力までないYASです。あ〜辛い。

たらきゅう

古のゲームにはめっぽう強い。BGMの良さがゲーム評価をする。特に限られた音源で頑張っている作品には評価が高いぞ!

ブルー ライトニング

3Dのシューティングゲームだ。秘密開発された「ブルーライトニング」を操縦して敵地に乗り込み、敵の本拠地を叩き潰せ。

3Dの飛行機ゲーとしては、他のゲーム機含めかなりの出来。ただし、海外ゲーにありがちな、BGM無し、敵が出てこない時間が長い、という欠点(?)もある。しかし、下手なポリゴンゲー等よりもスピードも迫力もある逸品である。

やはりオープニングが圧巻。回転拡大縮小をがんがん使っていて、店頭デモを見て買ってしまった人も多いだろう。すぐにループしてしまうのが残念と言えど、2面などは山間を縫って飛んだり、マニア心を擽るところなどうまい作りだよなあ。

気分は完璧アフターバーナーだなあ。(´_`)谷間とかを飛ぶ感じとかがとても気持ちいいんだ。発売したころはデパートとかで大会とかやってたんだよなあ。日米対決とか。(笑)LYNXの良さを再確認させてくれるソフトだね。

カリフォルニア ゲームズ

BMX・サーフィン・ハーフパイプ・フットバックスの4本が一緒に入って、楽しさ3.1倍(当社比)各ゲームは2人(4人可のものもある)で対戦が可能なので、更に楽しめます。

正に、LYNXの頂点に立つといっても過言ではない。確かに、BMXもサーフィンも良いが(ハーフパイプはおいといて)、真髄はフットバックス。世界が亡びて2人しか生き残らなかったとしても、リンクス2台とフットバックスさえあれば死ぬまで退屈せぬこと必至。

BMXしかない。もうこれだけあれば充分。シンプルなゲームに見えて実は異様なまでに細かい処理が隠されている(と思う)。もう極めでも極めでもさらに奥があるような感じで、全然飽きないのだ。自己最高は1310ptsまで来たが、実はまだいける(笑)。

初期の名作。同名の異機種のは別物だけど私はこれが一番好き。以外と知られてないけど4人までコールドプレイ出来るのだ。4人並んで河原でぐるぐるするぞ!US版のLYNXには標準でこれが付いてくるくそうだ。アウトアードラングをやる。LYNXのコンソールそのものだ

チップス チャレンジ

憧れのメリンダとつきあうために、全144面のパズルを解くのだ。各面は規定数のチップを取るとクリアできるぞ。パスワードもあるので、これでママも安心。

非常にバランスのとれたパズルゲー。パズルだけでなく、アクションやタイミングもある程度要求されるが、それほど難しくはない。1月かからず全144面を狂ったように解きまくってしまった。このゲームの唯一の欠点は、面が無限に無いことである。

パズルゲームは結構好きなので填ってしまった。アクションとパズルの比重が面によって変わるので、パズルが苦手な人でも大丈夫だと思う。でも、根気だけは必要だね。問題はエンディングだよなあ、あれ(メリンダ)の為に頑張るか普通?

いろんなパズルゲームの良い所を抽出した濃いゲーム。最初の方って結構、暇潰しにぴったり初心者からお嬢までってゲームの範ですね。BGMも多彩で飽きないし。おじやまやうも象徴的なLYNXキャラだよね。ちなんかもうって感じ。一体エンディングは何人の人がみたんだろう

エレクトロコップ

君はエレクトロコップとなり、さらわれた大統領の娘を助け出さなくてはならない。3Dの迷路を走って端末を見つけ出し、扉を開いて出口を見つけ出せ。

3Dというのをかなり強調したソフト。それだけに距離感がいまひとつ掴めず、結局なにがなんだか分からない感じになってしまっている。ただし、ゲーム中でブロック崩しができたり、動きが凄く良かったり、と変なトコで凝っているのが好きな人にはいいかも。

実はあまりやっていない。いやあ、MAPを書かないとゲームにならないところが問題だね。途中でゲームばかりして先に進まないのもあれだけど。でも、通路に幅があったりトラップがあったりと、やり直していたら以外と面白いぞ。

拡大、縮小機能を使って無理矢理3D処理する発想はいいの。曲もかういいしね。でも少しゲーム内容に魅力が欲しいかも。背景とかイベントとかね。端末をハッキングするっていうのは好き。特にパスワードを解いている間にゲーム中ゲームが出来るのは面白いなの。ぶきやあ

ゲート オブ ゼンドコン

LYNX唯一の横スクロールシューティング。3種類のオブションによるパワーアップ方式で、面はワープゾーンに入ることでクリアとなるが、前の面に戻されることもある。

スピード感ほ無し、自機の当たり判定も異常に小さく、弾避けも殆ど存在しない、といった横シュー。しかしそれを補ってあまりある雰囲気、敵の異常さ。特に、敵の動きについては、このゲーム以外では見たことないようなのぼっかり。シューター必見ソフト。

横スクロールタイプのシューティングは好きなので、きっちりとMAPまで書いてしまった(笑)。HARDでやるとスピードも速く結構難しいので、腕に自信のある人は全面クリアを目指してみましょう。因みにエンディングはまあまあいいです。

これぞLYNXって感じのシューティング。自機の動きの感覚が昔の88のプラット無しของเกมみたくてしゅねー日本のハッキリシューティングが好きなのは向いてないかもしれない。でも裏ステージとかそういうのって日本のをまねっこしてるよね。LYNXシューターなら絶対買うの。

ガントレット

4人同時プレイ可能なアクションRPG。性能の違う数人のキャラクターからマイキャラを選び行動する。なにもなくても体力が減ってしまうのでのんびりは出来ないぞ。

4人プレーがアツい。他人への支援、妨害、攻撃、アイテム横取り、等が出来るので複数でやると燃えること必至。ただし、敵の攻撃がかなりキツイので、複数でのエンディングはほぼ不可能か。まあ、複数でやるときはエンディング目当てじゃないからいいけど。

むずい。全面クリアを目指そうとすると、戦略が必要になってくるので、ちょっと息抜き程度にやるくらいでは全然歯がたたない。でも、このゲームは人数でやってこそ本当の面白さが分かると思うぞ。当然4人がベストだが、普通はメンツがそろわない。

これはハマった。全面MAPを書いたくらい。(笑)4人でやると、進まないわ殺し合いになるわ結構楽しい。気になると言えば、LYNXを立ててやらなければならない特殊性と全40面中パスワードが20面までしかないという辛さだね。本当に辛い。(T_T)

クラックス

転がり落ちて行くブロックを並べて消していく。各面には異なったクリア条件があり、それを満たさないといつまでもクリアできないぞ。それと、オープニングは必見。

シンプルなゲームだけに、移植度はほぼ完璧。あとは好き好きでしょう。私は落ちゲーは弱いので駄目です。でも、オープニングの曲とゲーム中の効果音だけの為だけでも買う価値は充分あるとは思うけど。

特筆すべきはオープニングだね。音源からは想像出来ないほどの凄いい曲が使われていて、LYNXの中では最高の出来といつていいだろう。しかも、ゲーム中は喋る喋る。まあ、カートリッジの厚みは伊達ではないということだね。

テレビに始まる一連のスタッフなゲームとしてATARIが出したアーケードの移植物。3Dの疑似3Dで板が転がって来る。ゲーム自体そこそこのだがBGMが曲やSEがとにかく凄まじいPSGでここまでカッコ良く出来る物だと思うオープニングのデモーションキターはもう感涙もの。

スライムワールド

8人まで同時プレイ可能なサイドビューの(スライムの)洞窟探検ゲーム。メガドライブやPCエンジンでも出ているが、元祖がこれ。スライムを倒しつつ出口を目指せ。

文句無しの10点ソフト。ただし、3人以上の人がいるのが条件。8人でも重くならないスピードは驚嘆。これも協力、妨害等出来るが、最高なのは虐殺。7人が1ブロックに固まってる所にメガボム落した快感は、やった奴しか分かるまい。死んでも買え。

ゲームの設定がなかなか良い。「うじょうじょ」したゲーム画面で「にゅちやにゅちや」進むところなんかGOOD! 5面までのMAPを書いてしまったが(こんな事ばかりやってるな)、6面はコンティニュー無しなのでクリアできない。誰かMAP書いてくれー

もう、ぬとぬとのぐちよちよって感じかな。(〃;)この感覚はやってみなきゃわかんないね。8人まで繋げることが出来るけど、そんなときやもう画面中キャラだらけ……でも処理自体は重くならないし、煩わしさもなし。しかしMAPが広すぎるぞ。(T_T)

ゼノフォーブ

エイリアンに占拠された基地からエイリアンを全滅させろ!全滅させるか、基地を自爆させるかで面クリア。4人同時プレイ可。エイリアンを操ることも出来るぞ!

4人プレイ出来るのだが、妨害が出来ないので評価を落している。やはり、複数プレイの真価は妨害。とはいえ、ゲームシステムもしっかりしているし、雰囲気も良いので、その気になってやればかなりハマる。難易度はそれほど高くない。

(同じ事を誰かが書くと思うが…)エイルリアンみたいな設定。ドアが開いたときに敵の音がしたら、ドアの近くで攻撃すれば隣の部屋の敵を倒すことも出来るので、レベルが進んだときはうまく使った方がよいと思う。あとは、消火器の使い方次第かな。

横ヒョウ型の歩き回りゲーム。7キャラを9人から選べるんだけどこれがまたカッコいいのだ。7人とかLYNXには少ない女性キャラもいるぞ!4人まで同時参加なんだけど、外5警備隊みたいに分担作業的で好きだな。よくよく考えてみるとエイリアンをモブ7にしているのかな?これって

ザーラ マシナリー

縦スクロールシューティングゲームだ。各種のパワーアップアイテムを取るによりパワーアップする。それぞれ1段階パワーアップなので復活は楽だぞ。

4人同時プレイ可の縦シュー。動きやスピードは普通なのだが、何か違う。プレイしていると、普通の縦シューとは明らかに違う何かを感じる。しかし、それが何だかは謎。歩iterる歩兵を殺すと3ゴールド入るという容赦無き虐殺ソフト。虐殺マニアは買い。

初の縦スクロールシューティングゲームということで、結構いい出来です。パワーアップが1段階なのは、復活が楽なので良いと思います。最近の多段階パワーアップはいきすぎて好きじゃないのだ。でも、ノーマルだと敵が堅いのだけは勘弁だな。

楽しくて難しいね。画面の狭さを感じさせない。さすがに4人でやるとなになんだかわかんなくなるけど……アイテムとかも基本的なものが多いし、結構とつきやすいのではないのかな?ちょっとひたすら避けてみたいなって人にはお勧めです(笑)

ミス パックマン

LYNXのパックマンは女の子だ。パックマンの迷路とは違う迷路になっている。あとのゲームシステムはパックマンと同じだ。まさに、パックマンファン

の為の一本。パックマンだが、4種類のマップがある。稲妻取ってスピードアップしたりする。パックマンマニアにはいいかもしれないが、いまさらパックマンでもあるまい、という人には絶対に勧められない。尚、ちゃんとゲーム中のマイキャラにはリボンが付いている。

パックマンだけどねえ。何かこう燃えないんだよね。面がオリジナルの面の4種類から選べたり、アイテムが色々あつたりとアレンジされているのが肌にあわないのかな?パターンも使えないし、パックマン1が面白くなかったのと同じかねえ。

MS.になったからといってどうってことはない。まさにPAC-MANである。「LYNXでPAC-MANがあ!!!!」とか、「懐かしい!!!!」とかいう人にはいいかも。しかし、MS.とつくりわりにはPAC-MANというのはなぜ?

ペーパーボーイ

君はデイリー・サン紙の新聞配達少年だ。受持ちの配達区域のお得意様に、毎日間違いなく新聞を配達しなければならない。うまく行けばお得意様も増えて行くぞ。

新聞配達による家屋破壊ソフト。って、上手い人がやれば新聞配達ゲーなのだが、私がやると単なる家屋破壊ソフトとなってしまう。このゲームをやった事があって好きな人なら買い。知らない人は、手を出さないのが懸命かと。恐いもの知らずなら可。

もうひたすら単調なゲーム。自分のスピードとポストまでの間合いを掴んでしまえば全て終わってしまうのだが、これがそう簡単にはいかない。人の家に新聞を投げ込んでしまいか、クラッシュして終わってしまう。まあ、やりこむ気はないからいいけど…。

これはもう有名なATARIのアーケードからの移植物。本物はコントローラーが自転車のハンドルだった斜めスクロールのアクションなんだけど、どうも斜めは苦手だな。操作感覚が掴みにくい上にハードなアクションで私は途中で怯みました。でもUSでは受けがいらしくSNESでは続編もある。

ランページ

怪獣に変身した自分が、ビルを破壊し人を食べるゲーム。軍隊が攻撃してくるから、それを避けたり破壊したりして、どんどん街をブッ壊せ！！

自分が怪獣に変身して、街を破壊し人を食うというとてもないソフト。当然、敵は軍隊となる。4人までプレイ出来て妨害も出来るのだが、このゲームやっていると人を食う方が楽しくて妨害などしなかったりする。面数が多いので、クリアは至難の技。

ああ、設定が何とも凄いいゲーム。化学薬品を食べたから巨大化するってのもなあ。しかも人間を食べると回復するっていうのはいいのか？ でも、ビルを壊して、電車を壊して、とめちやくちや出来るでストレス発散にはいいよ。しかし、何面まであるんだろ？

モンスターになって破壊しまくるは、人を食べるはキングコングやゴジラタイプの展開だね。LYNXの箱にも画面写真が載っていた割りには発売が遅くその割りにデモ曲がトップスからのパクリだったりとかちょっとテヌキな所があるかなあ。ゲーム性が良いからいいや。

ライガー

昔ゲームセンターにあった「アルゴスの戦士」の移植版。そういえば、セガマークIII版は「アルゴスの十字剣」ってタイトルだったな。なんで「アルゴスの戦士」にしないんだろう。

アルゴスの戦士の移植版。元ゲーをやったことないので移植度は分からないが、ゲームとしての完成度からするとかなり忠実に移植しているようだ。ただし、BGMは無い。ゲームの難度も高めなので、ある程度以上進むのはけっこう大変。

要は「アルゴスの戦士」。タイトルくらい差し替えたら良かったのにねえ。ゲームセンターそのまま、移植は良く出来ているぞ。ただ、画面が小さい為に色が滲むせいか、敵キャラが見にくく序盤でやられやすいのだ。

御存知テクモの「アルゴスの戦士」の移植。でもなんで突然この手の日本ゲーが単発的に移植されたのかは謎だねー。で、ゲーム内容はというと移植度は高く安心して遊べるのだ。でも、あえてこーいうゲーをLYNXでやる必要があるのかなーって考えてしまうのであった

ロード
ブラスターズ

カーアクション+シューティングの要素を持ったゲーム。車で走り進みながら敵をレーザー砲で破壊する。アイテムがあったり地雷があったり解、コースも一筋縄では行かない。

車載レーザーで車をブッ壊して行くゲーム。グラフィックも良く、結構爽快なのだが、単調なのが弱点。レース&シューティングなので、コースと敵両方に気を使わないと駄目。のめりこむまで大変だが、壁を越えると楽しい。面も多いので好きな人向け。

あれだな、このゲームをクリアするには方法は1つ。アイテムの落ちている場所を憶えるだけ。特にエネルギーは重要。でも無理をして地雷を踏んじやうと元も子もないから注意してね。画面をビデオに撮ることが出来れば、MAPが書けたんだけどなあ。

例のLDゲーとは似てるけど別物。よくあるレース物にシューティングの要素を付けたもの。やっぱりこの手のゲーにありがちな覚えゲーでどうもぼつとしないうって感じ。そこらへんは日本っぽいゲームなのかもしれない。LYNXらしいゲームに飽きた人にはおすすめかもしれない。

3Dスカッシュ。実際は凄く疲れるスポーツだが、LYNXでお手軽に遊ぶことが出来る。しかも、スピード感もあるしアイテムもある。でも運動不足解消にはならないぞ。

3Dスカッシュ。拡大縮小を上手く使っている。この手のものによりがちのどこまで近付いているか分からない、といった事も無い。アイテムも楽しくて良い。ただし、BGMがないのが少し寂しい。対戦でもCOM戦でもそんなに変わらずに楽しめる。

これも辛い(からいじやないぞ)ゲームだ。敵はほとんどミスをしなから、ひたすら耐えるしかない。人気がなさそうなのは、拡大縮小を使っている割りに、どうも派手さが無いのが問題かも。しかし、このゲームをやっていると眠くなってくるのは俺だけ?

対戦が熱い!もう完全に重箱の隅のつつき合時なんて、思わず「ニヤリ」と笑みがこぼれてしまう。勝った時のポイントを五日並六の要領で並べてそれに応じて得点がもらえるってところがうまく得点という物を生かしてると思う。

おなじみのパズルゲームがLYNXに移植された。LYNX独自の配列もあるし、2人プレイで競走することも出来る。他のゲーム機とは違った遊び方が出来る。

普通の上海。クリアしたからといっておねーちゃんが脱ぐわけじゃないので、純粋な上海人向け。配列がいくつかあるのが良い。まあ、アメリカ人の描くおねーちゃんが脱いでもちよっと嫌なので、これでもいいのかもしれない。

おなじみ上海です。パターンが限られているのかと思って、配置図を書いてみましたが10パターンかいたところで断念しました。実はランダムなのかも知れない。元々上海は苦手なのでどうしてもクリアすることが出来ません。困ったもんです。

非常にオーソドックスに出来てると思う。小さい画面にしてはパイの表示が良くできてるし。対戦で取り合いが出来るのもなかなか楽しいね。でも、やっぱり上海は上海なのだ。(なんのこっちゃ)

以降は、日本未発表のソフト達です



全国指名手配犯を捕まえるべく、Bob巡査は今日も街を走り回る。犯人を見つけたら照準をぶつけるか体当たりで攻撃だ。ノルマに足りないと部長が火を噴くぞ。

謎ゲー。一応車ゲームなのだが、ルールとか良くわからない(マニュアルがちと難しい)。よってあまりプレイしていないので、あまりとやかく言えない。おきやすの方が詳しいのでそちらを参照するように。これのアーケード版はアメリカじゃ大人気らしい。

実をいうと最初はゲームのやり方が全然分からなかった。分かっただけ、しまえば何でもないんだけど、普通分らないぞ。練習ステージ以降は同じ街の色々な所を走り回るだけなので、MAPを書いておくと迷子にならなくて便利です。でも、かなり広いぞ。

うおー70年代のアメリカンって感じ。ちょっとだけ進化したラリーXですね。独特の操作感覚と雰囲気だけでも必見の奇ゲーだね。こういうシブい画面で奥が深いとのめりこんじゃうねー。おかげでこれやるときはトナツ買って来てからやる事になっているよん。

ブロック アウト

ゲームセンターでもおなじみのブロックアウトです。上から落ちてくるブロックを3次元に回転させて、隙間無く詰めると消えていきます。以外と難しいぞ。

アーケードからの移植。3Dテトリス。ただ、回転方向が3方向あるために、オプション1を使わなければならないのが惜しい。おかげで、咄嗟の時には指が行かずに2方向回転だけでやる時もある。精進すれば問題なしだと思うが。

操作方法をマスター出来るかどうかで勝敗は決まります。ジョypadの所にブロックをイメージすると楽かも。ただ、マニュアルに誤植があるので迷わないようにね。やり込んでみると以外と先に進むので、ストレスが溜らなくていいです。

いわゆる3Dテトリスですね。日本では著作権問題が波及していてあんまりお目見えしてないようですが、頭がパニックキープになっちゃいます。スジガネ入りのパズル猿にはおすすめて。そうでない人は根性いりませ。全体的な構成はまるでーす。

チェッカー フラッグ

6人プレイ可能なレースゲームだ。コースの種類も豊富だし、細かいところも凝っているので感動すること間違い無し。通信プレイで友達をブッチぎれ!

レースゲーム。6人まで可能。家庭用ゲーム機では最多。それだけに楽しい。勝てないとなると、わざと周回遅れて邪魔したり、スタート時のタンゴ状態でS字走行して妨害したりも可。コーナーの立ち上がりでのッドヒートは鳥肌すら立つ。最高のレースゲーム。

多人数でやらないとあまり面白くないよ。6人で10周くらいで競い、ポイント制にして半日くらいひたすらプレイするのが基本(大嘘)。ヘッドホンをつけてやると、敵が迫ってきたときの臨場感が増すのでおすすめかな。

やはり6人プレイができる!これに尽きるでしょう。ギアも3種類位あって、自分にあつたのを選べるし、コースも多彩なのがいいね。しかし、COMに抜かれるとほんと取り戻せなくなるのは辛い。強すぎるぞCOM!因みに仲間内ではCHAMPです私。

ハード ドライビン'

ポリゴンを使ったドライビングゲームです。スタントとスピードの2コースがあり、それぞれを時間内にクリアして規定周回数を越えれば、チャンピオンと対戦です。

3Dカーシミュレーション。移植度は良いが、パッドとボタンなので、クラッチ操作がなくなったのが寂しい。グラフィックはポリゴンでガンガン動く。牛も鳴く。どっちかというと、ポリゴンの完成度を見るのが楽しいゲーム。

ポリゴンゲームということで、よくできていると思います。牛とかもちやんといるしね。ただ、微妙なハンドル操作が必要なゲームを、パッドでやるというところに無理がある気がする。一旦コースアウトすると、復帰が難しいんだよね。

ゲーセンの感覚がよく伝わってくるね。よく移植してあるとおもう。しかし、あのハンドル感覚をパッドで再現するのはやはり難しいようだ。慣れるまでが大変だね。スピード感があまり感じられないのもちょっと気になるな。

石道

あまりメジャーではないが、いろいろなゲーム機で出ているパズルゲーム。手持ちの石を規則に沿ってボード上に置いて行くゲーム。一筋縄ではいかないぞ。

いろんなゲーム機にあるパズルゲーム。なれるまではクリアできないだろう。コツを掴めばいいのだが、それまでに時間がかかる。上海型なので、その手が好きなのはいいが、そうでないと単なる寂しいゲームでしかないだろう。デモの花火は奇麗。

基本法則にしたがって石を置いていくパズルゲームなんだが、高得点を目指そうとすると結構難しい。無難に置いていくより、途中で手詰りになる可能性も増えても4WAYを狙った方がいいと思うぞ。それと、Cooperativeが結構燃えるので是非やってみてね。

あっちではやらせようとしたパズルゲーム。どうも私には理解しにくい。IBMとかAMIGA用もあるみたい。IBM用には本物の石が付いてるバージョンもあるんだって。だったら、LSI付きのチップがあってもいいかも。と脱線したけどオプコンの花火が結構奇麗。

バックランド

アーケードよりの移植。バックマンシリーズの2本目だ。これはアーケードそのままなので、アーケードにハマった人ならかなり進めるだろう。

アーケードからの移植で、かなり忠実に移植されている。アイテムの位置などは殆ど同じ。もともと出来のよいゲームなので、楽しい。ただし、コンティニューが限られているし、難易度が高いので、上手い人でないと先に進めないかも。裏技で自機を増やせる。

移植はよくできてる(はず)。アーケードの方をあまりやり込んでいないので、細かな所は分からなかったりします。でも、隠しコマンドとかがいくつかあるので、ヌルゲーマでも何とかなるんじゃないかな? えっ俺? 俺はパス(笑)

言わずと知れたナムコの作です。良く移植してあると思う。しかしこれもPAC-MANと同じくコレクターズ・アイテムと化してしまうのは仕方のないことである。……台掌。

スクラップヤード ドッグ

大事な友達の、犬のスクラップスがさらわれた。スクラップスがミソにされてしまう前に、助け出すためにひたすら進むのだ。よくある横スクロールアクションゲーム。

スーパーマリオタイプのゲームではあるが、あれ程楽しくない。自由度が低いために、先に進むにはバナーを覚えていかないとツライ。グラフィックに難があり、背景とオブジェクトの区別が付けにくい。初めて行った面ではそれでミスる事も多い。

設定がなんかいいぞ。クズ置場に住んでいる少年が主人公のゲームってのも見たことないよな。ゲームは某ヒゲオヤジみたいなものです。途中でボーナス面があるのですが、意外に難しいのではまっているうちに時間切れにならないようにしてね。

とにかくストーリーが泣ける。ホームズの少年の犬の友達が悪党にさらわれて助けにいくって内容。ゲーム構成はなんかヒーローに似てる気がする。結構いろんな工夫があったのしい。ちょっと難易度は高めだけどね。こーいうの売っちゃう所がATARIは偉いぞ!

S. T. U. N. ランナー

最近のATARIのアーケードで大ヒットした同名ゲームの移植。3Dのポリゴンで描かれた背景やキャラがかなりの速度で動き回る。スピード命のシューティングゲーム。

アーケードからの移植の3Dポリゴンゲー。スピード感が最高。グラフィックも奇麗。効果音も良い。難易度もそれほどでないのも、やりこんでルートを覚えればエンディングは見れる。とにかく速い。是非買うべし。

この手のゲームってバターンとかを憶えないと先に進めないのも、暗記系が苦手な私には荷が重すぎます。ある程度やり込んでると先には進むけど、なかなか上達しないしね。でも、ゲーム自体は良く出来ていると思うので、その点は一応評価しとく。

御存知「コインいっぱいある」っすね。あのハードな3Dアクションを良く再現してますな。このタイトルは結構ゲーム界の人々にも人気があってあのR間G郎先生もこれが出来るならLYNXを買ってもいいと言っていた位だ。おっしゃる通りか3D物が好きな人に絶対おすすすめ。

ターボサブ

3Dのシューティングゲーム。スペースハリアーみたいな感じのゲームで、スピード感はかなりある。2人プレイで得点を競うこともできる。

拡張を使った3Dシューティング。これまたスピード感抜群。ゲームシステムもありがちだがしっかりしているのも良い。難易度は低めなので、スピードに感心してるうちにエンディングかもしれない。2人プレイが出来るが、別々に点数を競うだけで意味がない。

見た目のわりには楽にクリアできます。3D物ですがアバウトに作ってあるらしく、当たりそうでも意外と避けることが出来ます。ただ、理不尽な当たり方もするので一長一短ですが…。しかし、パッドを押しっぱなしでクリアできるのは楽だわ。

スペースハリアーっぽいシューティングでうきよきよって感じ。あとお買い物要素もあるのでスペースファンタジーのほろが近いかな。もうつぼつきまくりで気持ちいいまん。空飛んだり海に潜ったり宇宙にいたりとにかく忙しいって飽きないぞ! バランスも結構良くてはふんなのだ。

ウォーバード

4人プレイ可能な空戦ゲーム。左右や上下に視点を移すことが出来る。1人プレイで修業を積んで上手く自機を操れるようになって、友達をガンガン撃墜してやろう。

3Dエアーコンバットゲー。このゲームもやはり複数プレイが燃える。複数だと撃墜ゲームになる。相手の後ろにいかにして回るか。雲の中に入ってエンジン切って近付いたり。そのへんの駆け引きが最高。左右と後ろを見ることが出来る。最高の空戦ゲーム。

対戦しかないね。雲を利用して追跡を振りきって上空から無音飛行で近付き、機銃掃射で決定的なダメージを与えろというのがいいかも知れない。難易度を上げると勝負はアツという間になってしまうので、多人数で総当たりというのも面白いかも。

対戦が熱い！飛んでる途中でエンジンを切って、滑空して相手の後ろについた時はもう最高だ！もう何人たりとも俺の後ろにはつかせねえって感じだね。買って損するということはないから買え！

ビル&テッド エクセレント アドベンチャー

時間旅行をしながら謎を解いていくアドベンチャーゲーム。2人プレイが可能。色々な楽器を使うことによって、謎を解いたりヒントを得たりします。

映画の方は、エクセレント！なんだけど、ゲームの方は……英語がある程度出来ないとメッセージが分からないから進めないし、謎が難解だったりするし。さらに、アクションも大事だし。グラフィックもちょっとショボ目。エンディング見た日本人いたら称賛。

Bogus! まだ、ビデオを見てないのか。よし、それじゃあ昼にレンタルで借りて鞆に入れたことにしよう…。EXCELLENT!! 2作目まで借りてあるぞ。2本とも見たほうが、更に楽しめるぞ。おっと後で過去に戻ってビデオを借りるのを忘れるなよ。Later, dude!!

正直いって、難しい。マニュアルが読めないと先に進めない。出来ればレンタル中の2本のビデオも見たいところだ。おもしろいから。(^^;)音楽もなかなかきけるので聞きたいがあるぞ。

QIX

昔なつかしのQIXがしYNXで帰って来た。しかも、最近のリメイク版ではないので、昔のQIXファンにはたまらないだろう。内容もまったくそのままだ。

大昔のゲームそのまんま。何にも変わってません。面が進むと邪魔が増えたりスピードアップしたりするが、自分はそのままだのでツラ過ぎる。私にはせいぜい30面くらいまでしか行けないが、200面以上あるらしい。QIXマニア向け。

凄いわ、このゲーム。既に、リメイク版もあって派手になっているというのに、初期のバージョンだったりする。テレゲームスは他にチェスしか作ってないみたいだけど、どうも派手な作りは苦手みたいだね。レベルも256まであるみたいだけど、マジ？

難しい。画面の測を這い回っている敵がいるんだけど、これが見にくくて気がつくやられてしまうんだなあ。なんかいい加減イライラしてきてやる気がなくなってしまうそう。万人にお勧めって訳にはいかないなあ。

バイキング チャイルド

バイキングの英雄となって、悪の帝王をやっつけろ！ジャンプを駆使して剣で切り付けろ！アイテムも有効に使い！そして家族を救うのだ！といったアクションゲーム。

アクションなのだが、動きがヘン。おかげで調子が狂う。私にはどうも好きになれない。てなことて1点なのだが、もしかすると好きな人もいるかもしれない。もし、買おうかと思っているなら、必ず1プレイしてからにすべし。

ジャンプするときの感じがかなり変、重力加速度なんか全然計算に入れてない動きをしている。お陰で、ジャンプで避けるのが難しいぞ。モン・ダーランドは、こんな動きはしなかったと思うが、移植で手を抜いたのかな？

確か昔ゲーセンにあったような気がする。タイトル忘れたけど……ま、なにはともあれ遊び易いゲームだねこれは。単純明解なアクション物です。でもマリオとかを期待してはいけないよ。てふてふ歩いていくタイプだから。

忍者外伝

横スクロール格闘アクションゲーム。邪悪な奴らに占拠された街を浄化し、平和を取り戻さなければなりません。首投げを上手に使用して、敵を薙ぎ倒せ。

LYNXの横スクロール格闘ゲームでは、最高の出来。ただ、敵が出てくる時にはやたらとウジャウジャ出てくるのがツライ。難易度は中の上くらいなので、この手のゲームが好きな人は、是非買うべきだろう。

面白いです。横スクロール格闘物の基本である、「縦誘導でヒット&アウェイ」を守ればそんなに難しくありません。肩投げをマスターすればほとんどの敵は問題無いのですが、2面のボスとかちょっと辛い敵もいるので、根気良くプレイするしかないですね。

これはおもしろい。そこら辺のアクションゲームなんて目じゃないね。さすがはLYNXと思わせてくれる。とてもいい動きをしているし。画面構成とかも凝っているな。しかし、画面クリアしてみると分かるけど、やっぱりどっか日本を間違っているな。>外人(笑)

ウルティメイト チェス チャレンジ

チェスゲーム。欧米はチェスが盛んだから強さはかなりのものだ。なんでも、全米チェス研究所のプログラムを元に作られたそう。チェスの腕に自信がある人は是非挑戦を。

チェス。実は、最後までプレイした事がない。だって、最初の1手打ってくるまでに数十秒かかるんだもん。数手進んだら、分単位で待たなくちゃならない。終る頃にはどのくらいになってるか恐くて出来なかった。チェスの好きな気の長い人向け。強いらしい。

チェスは知らないから強いのか弱いのか解らないけど、対98戦(BATTLE CHESS)ではそこそこの勝負をしてみした。ただ最強レベルではあまりにも時間がかかる事と、思考時間が終わったときに音を鳴らして知らせてくれないところが不満ですね。

なかなか良く出来たゲーム。どこらへんが良いかという点と難易度の設定が良く出来ております。コンピュータの強さと思考時間は比例すると思うけど。怯まないこのゲームは何年かかってもいいから最強モードがあるのだ。6502でよくがんばっている。ちえすとー

トーナメント サイバーボール

フットボールをロボットが行う。それだけに、かなり危険なルールも追加されているので、フットボールの興奮に常にスリルが付きまとう。

フットボールのルールなんか知らないからなあ。フォーメーションからの攻防とかも、フォーメーション覚えてないと駄目だし。ただ、ボールが爆発するっていうアイディアは○。メガドライブ版もたく選手のパワーアップ出来ればもっと良かったのに。

フットボールを元に多少アレンジしたルールで、選手も人間じゃないところなど設定はいいと思いますが、フットボールのルールを良く知らないからわかんないや。だって、フットボールってあんまりメジャーじゃないよね。という事でアメリカ人向けね。

未来のスポーツってやつ。ロボットがフットボールの球技をするんだけど。なんかやっぱリアルだな。全体的にスピード感ないし、わざわざなんでロボットにこんなことさせてしょ？コンセプトの無いアレンジはすきでないっす。

オーサム ゴルフ

スタンダードなゴルフゲーム。18ホールが3コースあり、4人までプレイできる。コースはそれぞれ国が違い、その国独特の美しい風景を見せてくれる。

まあ、可もなく不可もないゴルフゲー。ただ、ホールを拡張で見れたり、よく喋るところなんかは、けっこう感心させられる。まあ、LYNX唯一のゴルフゲームだし、けっこう楽しいので持っていて損はない一本。

LYNX唯一のゴルフゲーム。ホール数も多く練習ステージもあったりと、出来はよろしい。当然対戦も出来るので、繋げて遊ぶとなおよろしい。問題は、4人くらいで18ホールやると終る頃には疲れ切ってしまうことかな(笑)。

オートクスのゴルフゲーム。だからしっかりしているとえばそうだな。あとPCMを多用して盛り上げてるところは好きだな。空振りすると笑われたりして結構好きな演出でしゅ。何か妙にタイミングがぴったりで私が出るとやったらｽﾌﾞがいいぞ。ひょっとして簡単なのかな？

ロボトロン 2084

反逆を始めたロボトロンを倒すために、遺伝子工学のミスによって超人類の力を持ったあなたが立ち上がった。残された人々を助けつつ、ロボトロンを倒すのだ。

大昔のゲーム。先に進むにはかなりの集中力が必要とされる。ゲーム自体はとてもシンプルなシステムなので、反射神経だけでなんとか。まあ、好きな人は1時間くらいぶっ続けてプレイするんだろうが、私には5分が限界です。

個人的に好きです。そりゃあ、単調だし画面はしょぼいし音楽もないけど、なんかこう麻薬的なはまりかたをしてしまうのです。つい始めてしまうと、思わず数時間やり続けていたりとかね。終りはないみたいなので、どこまで極められるかは気合い次第。

ものすごく古いアーケードの移植。古いって事はシンプルって事で、画面は勿論スクロールしないけど、1画面中のキャラ数がただものではない。悟を開かないと先へは進めないでも各面ごとの攻略パターンを練るのは凄く曲は対応。

ザイボッツ

基地内に潜入したロボットを破壊せよ！基地内は3Dで表示され、その中を自在にうごいてゆく。何もしなくてもエネルギーが減って行くので、道に迷ってる暇はないぞ。

3D迷路シューティング？迷路のマップは出るので迷うことはないだろう。3Dで建物内を自由に歩き回れるのが快感。面数はかなりありそうだが、ワープしたりも出来る。難易度は高めだが、挑戦する価値は充分過ぎる程にある。

この3Dは凄いぞ。この画面システムでダンマスを作れば結構いけるかもね。WIZでも戦闘シーンをアニメーションで表示したりとか、ビジュアル的に凝ったことも出来そうぞ。でも、表示キャラが増えたときにスピードが問題になるかもしれないけど。

壁際のスリルがなかなかたまりませんな。路地の隙間から敵が見え隠れしたりするので臨場感もなかなかあります。しかし、アイテムを金で買うのはいいが、手に入る金が少ない感じがするな。あと、自分のエネルギーもちよいと少ないとおもうぞ。

クリスタル マインズ

II

アクションパズルゲーム。宝石鉱山が悪魔達によって占拠された。あなたは知合いの化学者が作り上げたロボットを操作し、鉱山の最下層まで行かなくてはならない。

チップスタイプのパズルゲーム。ただし、アクションの要素がかなり強い。チップス程仕掛の種類もないので、後発として見劣りがする。見た目が地味なのもあまり良くない。それでも、パズルの要素は高い。

CHIP'Sとゲームの流れは同じですが、ボーナスステージがあったりこちらの方が凝ってます。パズルも結構難しく、何度やっても解法が解らないときもあります。敵が宝石になつたりとか宝石が岩に潰されたりとか、色々理由はあるみたいだが。

はっきりいって「パルタ-ダッシュ」です。もうちょっと因数分解すると、フラッピーにデイクダクを足したアクションパズルですね。昔の7772の台湾製海賊ゲームみたいで味があるな。誰もが忘れたようなのをフィーチャーするのもいいけど、そのままっていうのはちょっとね。

スーパー スクウィーク

悪に支配された5つの島を取り戻せ。50×5=250面のアクションパズルゲーム。面ごとに設定されたクリア条件を満たさないと、面をクリアすることが出来ないぞ。

ペイントローラー的なゲーム。ただし、アイテムとかの説明がどこにも無いので、いろいろやらないと何もわからない。どーしてアメリカのマニュアルってのはこうなんだか。パズル的な要素もあるので、その手の人向け。PCエンジンでも出てる。

全250面、コンティニュー制限あり、パスワード不定。全面クリアする人間なんているのか？そりゃあ、50面毎に区切ってあるからまだまだけど。あ、でも、もしかして、面倒がってパスワードを聞き忘れる俺が悪いのか？

思考型であるけれど、アクションもあるってタイプでなかなかおもしろいな。敵キャラも個性があってなかなか楽しませてくれる。トラップも多彩なので飽きがこない。面も豊富なゲームだね。

トキ

全方向スクロールアクションゲーム。さらわれた王女を助けるために、呪いで猿に変えられた戦士トキはホーキメドロを倒すのだ。ジャンプと攻撃をうまく使い分けろ。

J u J u伝説。自分は猿。グラフィックは奇麗。元をやったことがないので移植度は分からないが、けっこう難しい。何度かやったが1面ボスでやられた。縦横にスクロールしていくのが楽しい。もう少し簡単でもいいと思うな。猿マニアは買いでしょう。

出来はいいぞ。良く出来てる。でもね、俺には難しすぎるんだよう。最初のボスを倒したところくらいで大体終わってしまうのは何故なんだろう。真面目に集中してやってないのが原因かな(笑)。という訳で、見た目はいいが何かのらないゲームです。

日本でのタイトルは「J u J u伝説」。トリデマンと並ぶ複製アケド・奇ゲーで、バリバリのアクションもの。ハワアツとか結構気持ちいい。まあLYNXソフトの中では比較的安心して遊べるタイトルですね。ううむ思い出しちゃったじゃないかーLYNXならトリデマンくらい出すべきだー。

カジノ

ここはLYNXカジノだ。ここでは様々なギャンブルが出来る。\$2000までお金を借りることが出来るが、使い切ったら出直すんだな。それはツキに見放されているぜ。

まあ、カジノなわけですね。ギャンブル系のゲームがいくつかある、と。ただ、日本じゃあまり馴染のないギャンブルもあるので、アメリカにギャンブルしに行く前にやる分にはいいお勉強になるかも。2人で出来るが、一体何をするんだろう？

いろんなカジノゲームが楽しめます。ポーカー・ブラックジャック・クラップス・ルーレット・スロット、持ち金がある限りいくらでも楽しめます。思わず、ポーッとプレイして数時間経つこともあるのが面白いところです。

うーん、お手軽なカジノゲームだねえ。でもなかなか侮れない。スロット、カード、ルーレット、どれもいつのまにか熱くなってしまう。でも自分の懐はいたまないのがいいね。(笑)これで練習して、それからゲーセンのメダルに挑戦するのもいいかも。(^^;)

ホッケー

ホッケーゲームなのだが、乱闘あり。殴り合い負けた方がファールとなり暫くプレイできないので、ホッケーだけでなく殴り合いの腕も研かなければならない。

ホッケーなのだが、ただのホッケーじゃない。なんかある度に乱闘になって、戦闘シーンになるという、結構リアルなゲームだ。ホッケーだけでなく、戦闘も鍛える必要がある。戦闘だけでも出来るので、お手軽通信1対1格闘ゲーとしても使えないこともない。

アイスホッケーのゲームというの、まあ珍しいわな。さすがアメリカということか。一応、ゲームの方もよく出来てると思うがどんなモンでしょう？ 実際のゲーム中の乱闘とかも再現されているけれど、乱入が出来ないのが残念といえば残念。

画面はちまちましてるし、自分はすぐ画面から消えてしまってゲームに参加できないし、それでもゲームは勝手に進んでいくし……(^^;)なんかゲームというより、DEMOモードで観戦してたほうが良いと思わせてしまうなあ。むずかしい……

ハイドラ

3Dシューティングゲーム。難易度別に3つのコースがあり、それぞれが美しい風景を見せてくれるが、あまり見とれていると敵にやられるぞ。

3Dシューティング。結構いろいろなアクションがあって良い。グラフィックもとても奇麗。アイテムも豊富で、難易度も3種類のコースで選べるので、万人ウケするゲームである。是非揃えたいゲームの一本。

EASYからひたすらやり込めば、大体クリアできるよ。出来るだけアイテムとかお金とかを取って、ショップではお金をケチらずに装備をととのえて行くことがポイントかな。途中の大型戦艦がネックだけど、BOMBをガンガン使って抜けちゃえ。

きめの細かい3Dアクション。湿地帯をホバーで駆け抜けるという斬新なテーマで背景が新鮮。アトラシックスのように背景を楽しむという要素を多く含んでいるね。外へ出かけて開放的な状態でプレイすると燃えるとおもうよん。こちらへんからROMカートリッジがいいかげんになった

バットマン リターンズ

大ヒットした映画の宣伝用？として殆どのゲーム機で販売されたシリーズのL Y N X版。バットマンとなり街の平和を守るために悪人を倒せ！という横スクロールアクション。

難しい。とにかく難しい。普通に戦っている、とうてい1面クリアすら望めない。敵が多い上に攻撃がとてもしゃらしい。逃げの一手でどんどん先に進むしかない。それでもやっと2面の中盤に行けるくらい。クリア出来る人なんているのか？

もう、ゲームバランス考えてません（断言）。難しすぎるぞ、本当に。アメリカ人は何を考えてんでしょうか。未だに2面を越えることが出来ないのに、4面まであるみたいだしねえ。でも、やっている間に技を憶えていくので、うまい人ならクリア出来るかな？

ネーム・リーの高い版權ものをぶつけてきたけど中身の濃い分ちょっと難しいかな。私は1面を越えたことがありません。絵、音、動き共に良く出来てるんだけど、バランスをなんとかしてほしいかったよお。でも、バットマンってもっと強くあるべきだとも思う。ゲームの弱点だな

ランパート

城壁を修復→敵船を攻撃→破壊された城壁の修復→敵戦を攻撃…と続く。修復が出来無くなったら終なので、攻撃よりも修復がメイン。修復はパズル仕立ての半パズルゲーム。

城壁修復ゲーム。ジャンルは、パズル&シューティング。シューティングとしてもパズルとしても難易度がかなり高目。自分なりのコツを掴んでないと先には進めないかも。雰囲気とかは結構好きだし面白いんだけど、難しい。

アーケードにもあった奴だね。ルールは単純なんだけど、意外に難しいのだ。でもやってて苦痛はないから、気に入ったらやり込むべし。ビジュアルシーンとかの出来も高水準なので、持っていて損はないと思うよ。

シュミレーション風パズルゲームかな？でも原始的なシュミレーションってパズルだよな。うーむ奥が深い。こういう中世な戦争を題材に戦力を記号的にして進化した将棋みたいなのは結構いいとおもう。気軽な暇潰しに最適。ずっしりとした暇潰しってあるのか？

バスケット ブロー

敵チームのプレイヤーを殴ったり武器で攻撃したりしてボールを奪ってゴールさせる。しかし、敵も攻撃してくる。かなりイカれたルールの喧嘩バスケットゲーム。

喧嘩バスケット。アイディアは良い。凄く良い。ただ、それ以外がどうしてもないくらいに悪い。動きとか、敵の行動パターンとかがひどすぎ。ちょっとやってみるが、エンディングまで行ってしまうようなソフト。アイディアはいいのに……

喧嘩バスケットだ。最初にキャラクターが選べるから、まずは足の速いキャラクターを選ぼう。このゲームは足の速さが重要なので、攻撃力とかはあえて無視。ゲーム中は敵を攻撃することだけに専念して、敵を倒した後で得点すれば楽だよ。

1 on 1にどつき合い付いて気がしないでもないけど、まあ許せる範囲だろう。しかし、どうしてもバスケット自体よりどつき合いのほうに熱が入ってしまうのは、しょうがないのであろうか……？（笑）

カンフッド

開発中の薬品のせいで縮小してしまった自分は、同じく薬で凶暴化してしまった野菜達を倒して、キッチンから脱出する、という変な設定の1対複数の格闘ゲーム。

横スクロール格闘ゲーム。動きやグラフィックが秀逸。設定のヘンさ度合はかなり高くて楽しい。先に進むと敵がウジャウジャ出てきて手に負えない。なんか、L Y N Xの横スクロール格闘ってみんなそうなんだよな。もうちょっとどうにかしてほしいぞ。

大きなキャラクターがガンガン動いて気持ちのいいゲームだ。難しそうに見えるが、それぞれの敵にあった攻撃方法を見つけ出せば、意外とダメージを受けることがない。押しっぱなしで連射も効くので、取り敢えずやってみるべし。

いわゆる7人対7人対7人のアクション。敵キャラがみんな冷蔵庫の中の食品とかだったりします。でも「あおいろうさん」と違ってみんな凶悪ですわ。ビリーカーにたいなリセージがかっこいいけど、全体的に難しいよん。難易度設定とかあるともっと遊べるんだけどね。

シャドウ オブ ザ ビースト

悪魔の姿に変えられた主人公を操って野獣の王を打ち倒せ！全12面の縦横スクロールアクションゲーム。背景のスクロールやキャラの動きが滑らかでそれだけでも凄いぞ。

移植もの。AMTGA版やったことないけど、良く出来てる。動きが凄くなめらかで、バックも多重スクロールして綺麗。ただし、難易度が高い。特定のアイテムだが条件を満たしてないとボスを倒せないが、それが何か分からないし。でも、いい出来だから許す。

動きが変に滑らかでいいぞ。ゲームの方はパターンを憶えればどんどん進んで行くので、とにかくやり込むしかない。しかし、所々でパズル的な部分もあるので、先に進めなくなったら色々な可能性を考えて方がいいよ。でも、実は4面のボスが倒せないのだ。

パソコンゲームからの移植だけど、雰囲気は損なわずにうまく移植されてるね。しかしゲーム性という目で見ると、アイテム関係でこれが無いとクリア出来ないというハマりがあったりして、結構むうだったりするのだった。

スチール タロンズ

3Dポリゴンのヘリコプターゲーム。与えられた司令に従って敵を全滅させろ！ポリゴンなので、山の間を飛んだりするのは思いのまま。しかも、なめらかに早く動くぞ。

ポリゴンのヘリコプターもの。ヘリだからなのか、スピード感はいまいち。キャラも小さいので、LYNXのあの画面ではポリゴンと言われてもよくわからない。でも、やってて結構面白い。難易度は低め。いいゲームであることは間違い無し。

操作に慣れないんだよね。ヘリ独特の動きである急旋回とか、旋回しながらの攻撃とかが出来ないので、(逆に攻撃を受けまくる)、ほとんど進みません。やはりヘリ物は専用のコントローラとかがないと出来ないものだと思うことにしておこう。

ヘリコプターの雰囲気は良く出てるとおも。画面がポリゴンでさっぱりしてるわりにはおもしろい。途中でタイムトライアルがあっさりして飽きさせないようにしてるのもマル。しかし一人用なのが惜しい。あと市街戦とかもほしかったね。

ベースボール ヒーローズ

3Dタイプの野球ゲーム。打順は好きに変える事が出来、野手も2人のうちから好きな方が選べる本格派。野球以外に守備だけやバッティングだけのモードも用意されている。

野球ゲーム。画面が小さい上にボールが小さいので、守備なんか出来たもんじゃない。バッティングも3Dなので上下左右とタイミングを合わせないと飛ばないし。かなり野球ゲームに慣れた人じゃなくちゃコンピューターとまともな勝負できないだろう。

まあ、あれだ。野球ゲームと言ってもファミスタの感覚でやってはいけないぞ。日本の野球ゲームは斜め上からの俯瞰だから、打つタイミングとかもそれに慣れているけど、一旦忘れてしまわないと出来ないぞ。ただ、慣れちゃうとファミスタに戻れないかもね。

はっきり言ってスチール物は好きじゃないんだよね。そーいう人でもそこそこ遊べるといんだけどねー。そんなのって殆どない。そう、フィカドのゲーム中に看板が出てくるぞアケト集書にフィカドで知ったと書くべし。なんじゃそりや(^_^)；

NFL フットボール

NFL公認のフットボールゲーム。NFLが公認しただけあって、かなり本格的なゲームが楽しめる。NFLのファンなら是非とも欲しいのではないのでしょうか？

純粋なフットボールゲームなので、フットボールファンむけ。フットボール知らない人はやるべきじゃない。でも、同じフットボールなら、いろいろな要素がある分サイバーボールの方が面白いかもしれない。どちらにしてもフットボール知らないきやX。

サイバーボールで書いているけど、日本ではフットボールはマイナーだからルールも分からないし、ましてやフォーメーションなんて普通知らないぞ。まあ日本で発売されたわけではないから、文句は言えないのかもしれないけど。

NFLの名前だけで売ろうと思ってるなって感じ。どうもフットボールってよくわかんないや古くは10ヤード77ヤードから始まり、スチール物の中では面白そうな雰囲気を発しているけど、どうも取っ付けないよおだれに私に伝授しておくれー。

スイッチブレード

II

右腕に最強の武器、スイッチブレードを付けた男を操り、悪の首領を倒せ。スイッチブレードの他にも飛び道具が使える。敵の帝国に潜入して悪を破壊するのだ。

AMIGAからの移植。やはり元はプレイ経験なし。まあ、そこそこに面白い。ただ、ショップで買うウェポンが使えなさ過ぎ。あれて高い金取るんだから、まったく。てなわけで、バランスがあまり良くないので先に進むのはツライので、腕に自信のある人向け。

うーむ、ありがちな縦横スクロールアクションゲーム。ほとんどパターゲームだから、各所のアイテムとか罠とかを憶えることが上達の近道でしょう。でも、何となくシブボイゲームなので、あまりやる気はしないですね。罠の意地が悪い所も嫌。

元はAMIGA用で、どうも日本のゲームを意識しているらしい。イメージ行状もアニメ調。でもどこかあさはがなんだよな。単調な横スクロールでどっか気の抜けたツクマッて感じ。絵は中途半端でもいいから中身はびしっとするのが日本の良い所だと思う。

ピンボール ジャム

ピンボールゲーム。画面は横画面で上下はスクロールする。操作は左がパッドのどこかの方向、右がボタンとやりやすい。しかも、台が2種類入っているというお得版。

凄く出来がよい。スクロールがなめらかだし色使いもいいし効果音も素晴らしい。元々ピンボール台であったものの移植だけに役物の配置とかは申し分無し。マルチボールも当然ある。ピンボールゲームとしては、ゲーム機の中でもトップクラスであろう。

これは好き。ピンボールゲームとしてはよくできています。でも、オリジナルの台と細部が異なっているために、高得点を狙うとすると攻略方が変わってきます。それぞれLYNX固付の稼ぎ方を見つめるように色々試してね。一応、LYNX本5に載ってるけど…。

ピンボールです。そこら辺のピンボールです。でも喋るんだこれが。しかも奇麗に喋るんだ。しかしそこまで……とくにこれといった売りもないし、純粋にピンボールをやりたい人向けだね。でも2種類しかないのはちょっと寂しいな。

ワールドクラス サッカー

サッカーゲーム。拡大縮小を使っている、見た目も楽しませてくれる。そして、チームはなんと100ヶ国以上の国から選ぶことが出来る！

拡大縮小を使っているはあるがキャラが小さくて見にくい。拡大縮小のスピードが遅い上に拡大率も高くないのが難点。あとは普通のサッカーゲームとあまり変わらないのだが、見にくいだけでもやる気はそがれてしまうものだ。

どうしてサッカーゲームで、操作性がよく見えてにわかりやすいものと言うのがないんだろうか？このゲームを見ていると、思わずそんな事を考えてしまう。最低でも侍スピリッツぐらい拡大縮小のスピードでゲームが進まないとする気はしないよなあ。

機能的には、拡大縮小なんかを使って見栄えもいいんだけど、やはりどっか洗練されたものがないんだよなあ。リアルさを求めるのはいいんだけど……好きか嫌いかわからずに別れてしまうんじゃないかな。

ダーティー ラリー

横スクロールアクションだが、最近の流行の奥行き有りではなく、奥行き無しの一直接線型。パンチと拳銃弾で街のごろつき共を一掃しろ！

完全な覚えゲー。しかもゲームバランスがとても悪い。ゲームというより作業をしている感じになる。先に進むのが難しい上に、やろうという気にならないから進まない。ただ、面クリア後のビジュアルは良い。でもそれだけ。

ストーリー的には良い方に分類されるかな。ゲームクリア時にビジュアルシーンが挿入されたりとか、演出は凝ってると思う。ただ、ゲーム自体の難易度は高いかな。武器の拳銃をなるべく使わないようにしないと、ゲームクリアは難しいよ。

オープニングがかっこいいけどゲームの内容がちよっとさみしいよん。ファミコン版のあぶない刑事くらいひどいぞ。敵が容赦無い。敵の攻撃に結構どきどきするけど、ゲームとしてどきどきする訳じゃないとおもうぞ。でも和歌のスパルタンXだと思えば遊べる。

ジャウスト

昔のゲームで、慣性を上手く使ったゲーム。とてもシンプルなシステムなので、一度やり出すと止まらないかも。かなり上手い人だと何時間も続けてプレイするらしい。

人昔のゲーム。らしい。慣性や重力が効いているので、自機の操作が非常にやりづらい上に敵が多い、速い。かなりシビアなゲーム。面はほぼ無限にあると思われる。しかし『そんなにやりこむには、そうとうの思い入れがなきゃ無理だろう。』

知らない人に説明するときは「バルーンファイト」というのが一番だけど、こだわる人に言うと怒られるから気をつけましょう(笑)。駝鳥に乗って蹴りあうだけだけど、慣性が働くので操作は難しいよ。でも、頭を空にしてやると結構良いかも知れない。

ゲーム自体が単調なせいか、すぐ飽きてしまいそうな雰囲気を持っているな。鳥の慣性についても、画面に対して効きすぎとおもうな。ほんの1、2ドットの世界なんだけど。(^^;)やはりこれも対戦があるので、そっちの方が楽しいかな？

ピット ファイター

アーケードからの移植の格闘ゲーム。アーケードでは取込みのキャラクターが美しかったがLYNX版でもそれは健在。操作性も良いのでハマること間違い無し。

アーケードの移植。残虐行為手当と字が出ないのが寂しい。基本的に移植度は高く、画面の小ささを拡張やスクロールで補っているの、キャラの小ささは感じない。しかし、バックとキャラが同系の色なので多少見づらい。後はほぼ満点といったところ。

ああ、メッセージが英語だ(笑)。いや、そうじゃなくて、えーとあれだ、画面が小さいためにキャラクターが見にくいな。操作系では、ボタンを押したままで連射が効くのが、じじいには楽でいいぞ。でも、CHAINMAN X 2を倒すのが運次第というのは勘弁。

ゲーセンからの移植物だけど、やっぱクセがあるなあ。敵との間合いが全然つかめないし、起き上がうた瞬間に袋叩きって感じて復帰が難しいし。まあ、慣れっていうものもあるだろうけど……



まず、自信を持って進められるのが8点の点数をつけたソフト。9点のソフトはLYNXユーザーで持ってなきゃ駄だっても。10点のはLYNX買ってでも万人にプレイして貰いたいゲーム。実は、点数が低いものの中にもいいソフトはある。しかし、いい味出してるソフトなので、ゲームを楽しむのとはちょっと違う。LYNXの1人ゲームはたいがい面白くないかバランスが悪すぎるので、複数プレイ可能なやつでワイワイやるのがLYNXの正しい使い方でしょう。特に8人プレイは史上最高だね。

LYNXソフトは初期のインパクトが凄かった。携帯用であのスピード、色数、派手な演出、マニア心をくすぐる作りでもう虜になってしまった。個人的にはBMXが一番だったりする。あれって単純に見えるけど、ぶつかったときの跳ね方などが多彩で、かなり多くの技を編み出すことが出来るのが凄いな。後は、CHIP'SとかCRYSTAL MINES 2とかが結構いいね。あの手のパズルゲームは攻略心が燃え上がってしまうのだ。そしてKLAX。オープニングは最高だから絶対に見ること！でも初期バージョンに注意してね(笑)

総評 YAS

全体的にはLYNXの潜在能力の大きさを見せつけてくれるいいソフトが多いけど、最近では多人数向けが少ないのがちょっと寂しかったりする。でも例え出たとしても多人数では中々プレイ出来ない現実があるのも事実なんだよなあ……。

総評 たらきゅう

うーむこうして見返すと、LYNXってクク率のやったら低いゲーム機だよな。根性でここまで本を作ってきて本当に良かったとおもう。もうそろそろ上がみえてきてるけど海外ゲーム機にはまったのはなんかの運命でしょ。これからやりまっせ。

LYNXソフトベスト7

By おきやす

今まで数々のゲームが発売された。中にはとんでもない物もあり、また素晴らしいものもあった。そして現在、その中から数点を選び出すことになった。

悩んだ、かなり悩んだ。

唯一のゴルフゲームである“AWESOME GOLF”や、“HARD DRIVE IN”などの3Dゲームの数々、以外に味のある“ROBOTRON”、どれも特徴があり捨て難いものだった。幸いにも“QIX”と“ULTIMATE CHESS CHALLENGE”は悩まなかったが（笑）

自分に与えた影響や、人に薦めても大丈夫だろうという一般的な面白さ、その他の色々な点から考え以下の7つを選び出した。本当を言うと、この倍の数のソフトがおすすめできると思うのだが、あえて絞り込んでみた。では、下から順番に紹介していこう。

7位：XYBOTS

3D迷路のアクションゲーム。簡単に言うと「ダンジョンマスター」。やっぱり、LYNXで「ダンマス」が出来るかもしれないという期待が持てたところが良かった。とか、歪んだ感想を書いてみたり。(´_`);

でも、動きもいいし各所にあるワープを使えば以外と先に進めるしと、ゲームバランスはいいと思う。MAPを詳しく書いていけば必ず最後まで行けると思うので、暇を見て進めたいゲームだ。

6位：CHIP'S CHALLENGE

初期のゲームの内の一つでグラフィックはお世辞にも良いとはいえないが、そう言った次元ではないところにこのゲームの良さがある。各面がアクション・パズルそれぞれに特徴があり、パズルが得意なだけでもアクションが得意なだけでも解けないというのも攻略心をくすぐる所だった。本もつくったが隠し面をフォローしきれなかったのがちょっと心残り。

全部で144(12×12)面だとか、メリンダの顔がアレだとか、アメリカ人だねーということで、好みは分かれる気もするが。

5位：ZARLOR MERCENARY

縦スクロールシューティングゲーム。これはシューティングが好きなら絶対に押えなければならない1本だ。パワーアップ方式や得点あまり日本的ではないけど、フルパワーアップ時の敵を倒す爽快感は凄いぞ。

そして4人まで同時プレイが出来るから、コムリンクスで繋がれば更に爽快感はアップ！ボスが来てもボンバー合戦であつと言う間にけりがつくし。

でもやっぱり、地上の人を殺して 3pts するのは凄すぎ（笑）

4位：XENOPHOB

やっぱり、エイリアンだね。ゲーム自体はすごく難しいんだけど、多人数でやっていると結構燃えてしまう。特に、誰かがモンスターを選んだときは同士打ちになってしまうので、プレイヤーの方が大騒ぎになるのだ。

面を進めるなら2人プレイがちょうどいい人数だから、気合のある人はやってみよう。ただしMAPを書いていかないと、多分無理。

3位：DRACULA

多分、好みが別れるだろうが、これは出来がいいぞ。唯一のアドベンチャーゲームなんだが、単なるコマンド選択方式ではなく対象物を捜し出してコマンドを選ぶやり方なので、そう簡単には解けないようになっている。

当然ながらメッセージは全部英文なので、片っ端から訳していかないとストーリーを把握することが出来ないという問題はあるが。でも、みんなにやって欲しいなあ。セピアカラーの独特の世界を味わって欲しいね。

2位：KUNG FOOD

画面の2/3位の大きさのキャラクターが所狭しと動き回る横スクロールアクションゲームだ。キャラが大きくて横にスクロールしながら上下にも移動できるので、ある程度MAPを覚えておかないといけないぞ。以前に3面くらいまで描いたけど、大まかに敵とかアイテムとかを描くだけなら以外と簡単なので、興味がある人はやってみよう。

主人公(?)のあのキャラも色が赤だったら、「ねぶそく魔人・火山ダーン(だったっけ?) By 我々」みたいだし、おまけにポーズも変だしね。でも妙に味があるので好きなのだ。面クリア時のポーズが気に入った人は仲間だ（笑）

で、次頁が最後。

1：カリフォルニアゲームズ

特に B M X

とにかく B M X

何と言っても B M X

もうこれしかないね。今では Virtua Fighter みたいにリアルな動きが流行ってるけど、このゲームの動きもかなりリアルだった。単なる自転車ゲームだから動きのパターンも限られているだろうと考えるのは浅はかで、スピードや自転車の回転方向、更にはタイヤの当る角度までも動きに影響してくるのだった。

途中にある段差を使って落下しながらの大回転を決めてスピードをつけ、更にジャンプして大空に飛び上がったときは最高！おまけに着地時に上手く跳ね上って2回転くらいすれば、もうグレイト！！

しかしパターンにはまればいいんだが、ポイントに行くまでのスピードとかが違えばジャンプのタイミングも違ってくるし、当然その後の展開も変わってくる。単純なパターンゲームに陥ることがなく、究めようとすればするほど新たな領域が開けてくるのがこのゲームなのだ。

最初はジャンプと回転だけかと思ったら、着地時の場所によって変化することが解り、更に数年後ジャンプ地点の違いによりスピードや角度が変わることが解った。あまりに深すぎる…。

そのため最初は越えることの出来なかった1000ptsの壁を越すことが出来て、現在では1305ptsが自己最高である。だが、まだ限界ではない。

もし無人島に何か1つゲームを持って行けるとしたら、間違いなくこれを持っていくだろう。そして紙と鉛筆を大量に持っていき、完全攻略を仕上げるに違いない。それくらい好きなのだ。

注：文字の大きさは声の大きさに比例しています。

LYNXソフト ベスト3

1位 スライムワールド

2位 ゲート オブ ゼンドコン

3位 S. T. U. N. ランナー

ってとこですね。スライムは、とにかく最高っす。実際、8人同時プレイなんてのが出来るのはあれくらいだし。実際、8人プレイをするとゲーム観が変わります。とにかく、協力、競走、同士討ちなどなんでも出来る。とにかく、あらゆる意味での完成度が高い。しかし、8人プレイが出来るハード自体が今のところLYNXしかないから、ああいったゲームはもう2度と出ないであろう。そういった意味でも、あとにも先にもないゲームである。

ゼンドコンは、LYNXにハマるきっかけとなった記念すべきゲーム。確かに大味で当たり判定もいいかげんだが、雰囲気や怪しい敵キャラなど、いかにも「胡散臭いアメリカゲーム」って感じが良い。

S. T. U. N. ランナーは、高速3Dが気持ち良い。LYNXには拡大縮小機能があるから3Dものが沢山出たが、その中でもスピードも申し分なくとても良く出来ている正統派ゲームだ。欲を言えば、「あ ショックウェーブ」とかも再現して欲しかったが（ってあれは日本版だからなのか？）。

以上3本。ほんとはもっといいのがあるのだが、インパクト等で印象に残ったゲームがこの3本ですかね。

たらちゃんのりんくすソフトベスト3

いちい

チップスチャレンジ

このげーむ、パズルゲームなんだけど電車のなかで時間つぶすのにとってもいいなり
バランスもいいし、日本のまねっこなのしか出ないパズルゲームより何倍もおもしろい
よん。

にい

スライムワールド

結局8人同時ふれいできるゲームってこれだけだったね。みんなで8台つないでやった
のはとったもたのしかったよん。重くなるけど、
エンジンとメガドラでも出たけど、2人までしかできなくてはふんって感じ。やっぱり
りんくすがいい！！

さんい

ゲートオブゼンドコン

こいつでLYNXにはまりましたからねー。ちょっとシューティングのくせに時期の反
応が遅いけど、敵のセンスとかよくってすきですー。このソフトがなければこの本はな
かったでしょう！

通販について

ATARIに
通販を申し込んだ。

立沙汰無し

以上。

LYNXポーチのこと

皆さんは当然LYNXポーチを御存知だろう。あの、LYNXより一回り大きくて、LYNX本体と前と横に付いているポケットにソフト数本とコムリンクスが収納できる、布製のアレだ。

実際、あれはとても出来がいい。ハードケースだと重いし、かさばる。ポータブルとは言っても普通は鞆に入れるんだから、ハードケースだとケースや他のものに傷が付く心配もある。しかも安い。しかし、布製のソフトケースならそのへんの問題はない。しかし、国産ゲーム機はハードケースしか出ていない(と思う)。このへんも、ATARIの思想は素晴らしい。

あるゲームソフトショップで、「ゲームギアを買った人に、ケースプレゼント」というフェアをやっていたらしい。そして、そこでプレゼントされていたのが、そう、LYNXポーチだったのだ！

そのショップはチェーン展開しているらしいが、規模は良く分からない。さらに、そのフェアをやっていたのがそのチェーン全体なのか、1店舗のみなのかもわからない。

しかし一体、何故？あれは日本で（ムーミンで）は販売していない。確か、サンオーでポーチを販売したとき、1回目の入荷がすぐに売り切れて、2回目(だったと思う)で数十個入荷していた。しかし、あれも売り切れていた筈。すると、やはりそのショップが独自で輸入したのか？いくらチェーン店とはいえわざわざ別の機種のを輸入するなど考えられない。チェーンのよくわかってないショップらしいし、その店は都心にあるわけではないのでユニウソフトを扱っているとも考えられない。実際、箱にLYNXってかいてあって、ゲームギアとは書いてないから（あたりまえだが）、店員でつけ忘れたりする人が続出だったという。

ともあれ、理由は謎だがそんなことが行われていたらしい。この話は私が友人から聞いたものである。そして、「ポーチだけちょうだい」って言ったので、家には今11個ものLYNXポーチがあるのであった。

後記

さて、記事にはないのだが、重大な発表がある。それは、

ムーミン、LYNXⅡを輸入・発売

するかもしれない。

ということだ。どうやら、サンオーが事情によりLYNXの仕入れが難しくなり、ムーミンが丁度JAGUARの輸入・販売を初めたので、サンオーからムーミンに頼んだらしい。だが、ソフトについては未確認だ。ハードがあってもソフトがないと困るので、ソフトも新しいものを輸入してもらいたいものだ。というわけで、状況によってはこの後にLYNX本を発行する可能性もある。というわけで、この本は、ファイナルであってファイナルではないのだ。

ほこ

ふう、最後なんだろうか？最後じゃないといいな。でも、JAGUARとのかを考えると最後のほうがいいのかも。

おきやす

思えば速くへ来たもんだー♪ しかしなんだね、ソフトのベスト7を選んでいるときに

カートリッジを並べてみたんだが、かなりの数だった。かれこれ4年くらいの蓄積だ

が凄いもんだねえ。我ながら感心してしまった。LYNX関係もちょと息を吹き返

しそうだし、もう少し続くような感じかな。ピ○ルダーでないかなあ。

たらちゃん

にやーごめんなさい。1ページしか書いてないくせに、20分で書いたよん

おくづけ

発行 日本L Y N X普及委員会
印刷所 たらちゃんコピーサービス
M C D愛媛出張所、M C D越谷出張所

連絡先 〒152 東京都目黒区碑文谷5-8-2-203
奈良方M C D内日本L Y N X普及委員会

ホ-トBBS 03 24H 2400-14400bps
1994年12月30日初版発行

発行

